

This is IDOL!

くにおんにアイドルがきちゃいます♥

2014年度国立音楽大学音楽研究専修
研究発表会 専門ゼミⅠ・Ⅱ

皆さんは、アイドルという言葉を聞くと一体誰を思い浮かべますか？

AKB48? モーニング娘? それとも、ももクロ? いやいや、ジャニーズやK-POP、それよりONN ORECTIONでしょ! などの意見があがるかもしれません。もう少し時代を遡れば、フォーリーブスやジュリー、山口百恵や松田聖子などを思い浮かべる人も多いかもしれません。このように日本においてアイドルとよばれる人物が多く存在します。アイドルの歴史は意外にも古く、世代によつて思い浮かぶアイドルは異なることがわかります。音楽研究専修と音楽情報・社会コースが毎年行っている研究発表会の今回のテーマは「アイドル」。研究発表会ではアイドルの起源や、辿ってきた歴史を踏まえ、現代のアイドル事情や世界のアイドル、どのようなアイドルグループが存在しているのかなど、様々な視点からアイドルというものを紐解いていきます。

☆なぜ、「アイドル」というテーマを選んだか☆

今回の研究発表は主に学生6名で行うのですが、私たちは特別にアイドルの音楽というものに親しみがあつたり、特定のグループを応援し

ているなどという「アイドル愛」のようなものはさほど持ち合わせていませんでした。しかし、「なぜ今こんなにアイドルが音楽業界で活躍しているのか」ということに疑問をもつたことから、このテーマを選ぶことになったのです。

このテーマを選んでから様々な意見が飛び交い、「アイドルとは何だろう」という疑問を探るために夏休みを利用してアイドルイベントにも参加してきました。そのうち私たちも、彼女たちの世界に引き込まれ、くせになってしまいました。一芸アイドルや地下アイドル、切つても切り離せないファンとアイドルの関係、アイドルのその後や日中韓のアイドルのちがいがなど、知れば知るほど奥が深いアイドルの世界……もことからアイドルがすぎな方、今回この記事を読んで興味を持つていただいた方や、「まったくアイドルが流行っている日本なんてけしからん!」というそのあなたも! 私たちの研究発表会に是非足を運んで下さい。

☆大学対抗アイドル大会☆

アイドルという概念が今どうなっているかを考えるとき、興味深いのが「ユニドル」です。これは「University Idol」の略称で「大学で活躍する女子大生アイドル」のことで

あり、主にアイドルが大好きな女子大生がアイドルのダンスをコピーするコピーダンスサークルとして活動をしていることが多いのです。2012年からは大学対抗で日本一の女子大生アイドルを決める「UNIDOL」という大会も開催され、一部では「女子大生の甲子園」とも言われています。今年の7月の大会で4度目の開催となったこの大会には、毎回20組程の団体がエントリーし、予選を勝ち抜いたグループが本選に出場し、優勝をかけてパフォーマンスを行っています。早稲田大学や東京大学などのエントリーもあり、一つの大学から複数のグループが出場することもあります。彼女たちのパフォーマンスは主に人気アイドルグループなどの楽曲のダンスや振り手をコピーしたもので、それぞれが自分たちのアイドルへの「愛」を思い切り表現したパフォーマンスとなっています。「アイドル」は今やパフォーマンスの種類なのです。

今年の7月に行われた「UNIDOL 2014 summer」での優勝者は上智大学の「SPH meimuse」というグループでした。なお、会場は女性の観客がら割を占め、「友達が頑張っていたので見に来た」という人も多かったです。友人や家族とも楽しめる身近なアイドルイベントの「UNIDOL」、

参加条件は女子大学生であることなので、来年は国立音大からも「INDOL」に参加するよきって良い結果になるのではないだろうか。

「8王子のアイドル」 「8princess」に注目

日本各地に増え続けるアイドル。今や市区町村を代表するご当地アイドルもたくさん生まれています。ご当地アイドルは「ロコドル（ローカルアイドル）」や「シモドル（地元アイドル）」と呼ばれることもあり、これらも厳密には活動内容によって名称は異なります。行政が一体となり地域活性化などはかるためにご当地アイドルを生み出すこともあります。

今回は、東京都八王子市のアイドル「8princess」通称「はちぶり」を紹介します。彼女たちは地元八王子市を中心に活動するご当地アイドルです。

7月某日、八王子市にあるトンキホーテ入り口前の小さな路上スペースを訪ねると、そこにはイベントを行う「はちぶり」の姿がありました。衣装は浴衣、手にはメガホンを持った現役女子高生と女子大学生たちです。彼女たちの前には1メートル、いや50cmほどの距離しか離れていない場所までファンがずらりと並び、なんともいえない一体感をつく

りだしていました。観覧はなんと無料。毎月この場所でイベントを行っているそうです。この日披露した楽曲はすべてオリジナルのもので全7曲。すさまじい暑さの中、メガホンを片手に生歌を披露する彼女たちにいつしか引き込まれてしまいました。どこか親近感がわくMCに、カメラをまわせばすぐ傍まできてカメラ目線を何度もくれるというような彼女たちのファンサービスには好感をもたずにはられません。そんな彼女たちの魅力とサービスのおかげで、結成当初は数人しか集まらなかったライブイベントも、今では三百名が集まるまでに成長しているといえます。

「はちぶり」の歌う楽曲は八王子を意識したものが多くです。一度曲を聴けば、その地区の名産品や特色がわかってくるのです。

「はちぶり」の楽曲には「町田に負けるな」や「打倒立川」など興味深いフレーズも多く使われています。ちなみに、町田市には「ミラクル☆マーチ」というアイドルグループがあり、ほかにも神奈川県川崎市の「川崎純情小町★」なども活動しています。八王子、相模原、川崎のご当地アイドルはライブでもありながら合同イベントも行っていきます。

そんな「はちぶり」からの9月にはメンバーが一人卒業し、随時募集中だっ

た新メンバーオーディションに再び注目が集まるでしょう。

応募資格はいくつかありますが、「八王子市在住の方」に限ります。

この記事を読んで「はちぶり」に興味をもった八王子市民のそのあなた！ぜひ「アイドル」への第一歩を踏み出してみてはいかがでしょうか。

そしてなんと!! 「はちぶり」が我が国立音大に来てくれることになりました!!!

12月11日(木)、6号館110スタジオにお越しただければ、あなたも本物のアイドルに会えるのじゃー!

Don't Miss it!



参考資料

- ◆『幻の近代アイドル史：明治・大正・昭和の大家芸能盛衰記』笹山敬輔著 彩流社 2014 請求記号●J126-968
- ◆『増補アイドル工学』稲増龍夫著 筑摩書房 1993 請求記号●C57-643
- ◆『「アイドル」の読み方：混乱する語り』を問う』香月孝史著 青弓社2014 請求記号●J126-874
- ◆『アイドル進化論』太田省一著 筑摩書房 2014 請求記号●J127-255

研究発表会の日程「This is IDOL! くにおんにアイドルがきちゃいます♥」
2014年12月11日(木) 時間(未定・18時過ぎを予定) 場所：6号館110スタジオ